Form No. 3415-689 Rev A

トランスプロ 100 牽引トレーラ

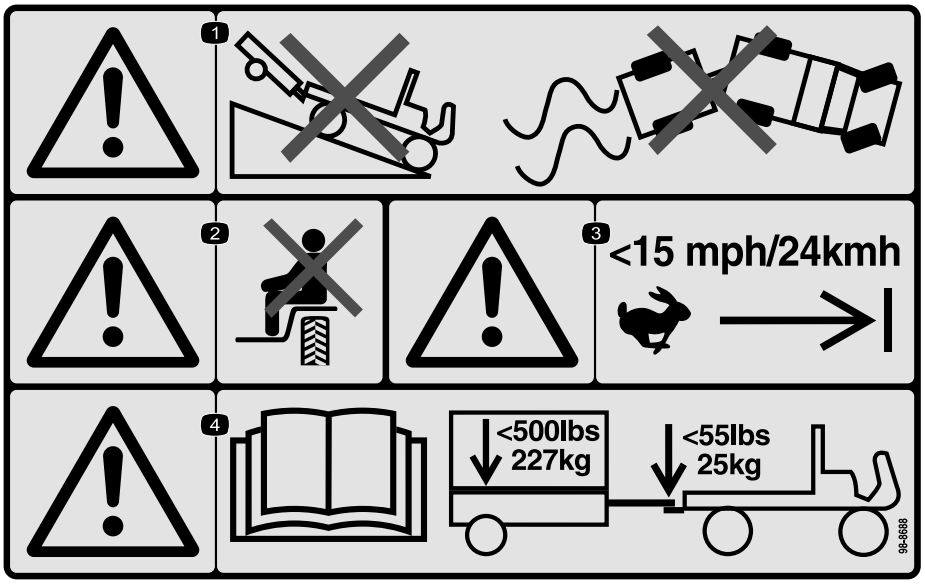
モデル番号04240—シリアル番号 310000001 以上

取り付け要領

安全について

安全ラベルと指示ラベル

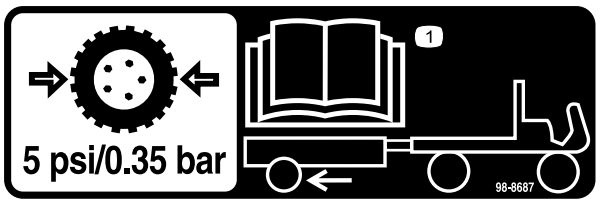
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。 破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal98-8688

98-8688

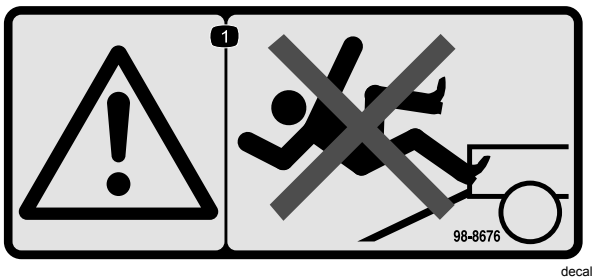
1. 警告トレーラを牽引して下り坂を走行しないこと車両とトレーラを確実に制御できる運転をすること。
2. 警告 人を乗せないこと。
3. 警告時速 24km/h を超えないこと。
4. 警告*オペレーターズマニュアル*を読むことトレーラの最大重量は 227kg トングの最大重量は 25kg。



decal98-8687

98-8687

1. トレーラのタイヤ空気圧を 0.35bar に調整してください*オペレーターズマニュアル*を参照。



decal98-8676

98-8676

1. 警告歩み板を歩かないこと。滑って転ぶ危険あり。

取り付け

© 2017— The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)

Printed in the USA

禁無断転載

3415-689 A

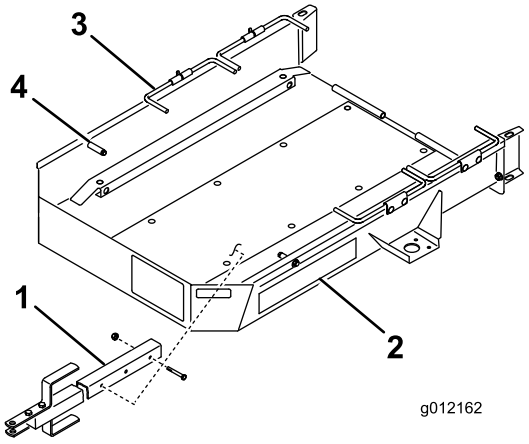
付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
トレーラベッド トングアセンブリ アクスルハブ ホイールアセンブリ トレーラランプ ボルト3/8 x 2-3/4 インチ スペーサ ナイロンロックナット3/8 インチ キャリッジボルト3/8 x 1 インチ ロックナット3/8 インチ ラグナット ヒンジロッド コッターピン	1 1 2 2 1 2 2 2 8 8 8 1 2	トレーラを組み立てます。
必要なパーツはありません。	–	トレーラトングの位置を調整します。
必要なパーツはありません。	–	トレーラへの積み込み.

トレーラを組み立てる

1. トレーラベッドの下側にある取り付けブラケットに、トングアセンブリを取り付けるボルト3/8 x 2-3/4 インチ2本、スペーサ2個、ロックナット2個を使用する。ほとんどの場合、トングとブラケットの前側の穴を利用すればよい図 1。

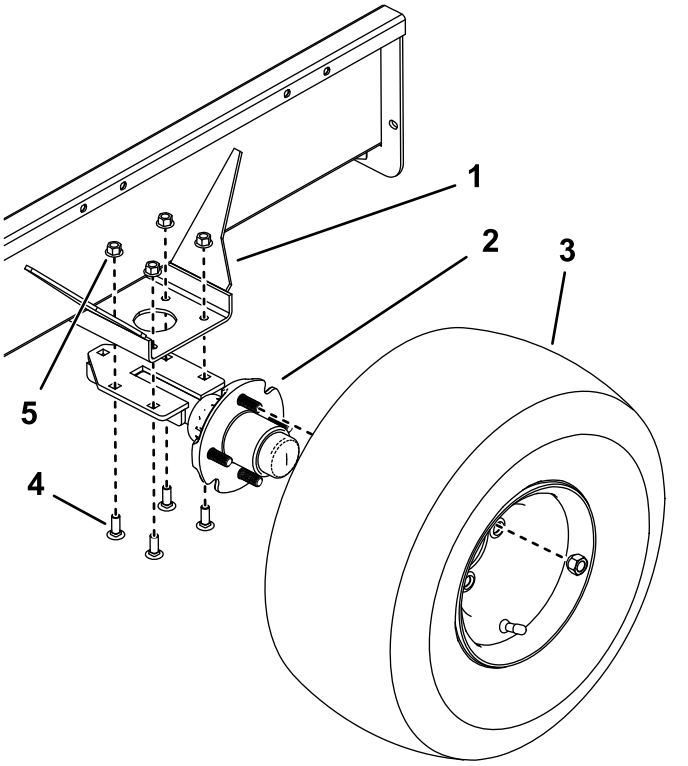


g012162

図 1

1. トングアセンブリ
2. トレーラベッド
3. ホイールロッド
4. ストップ

2. トレーラベッドの両側で、取り付けブラケットの下側にアクスルを取り付けるキャリッジボルト 4本とロックナット4個を使用する。アクスル、キャリッジボルト、ナットは図 2 のように組み付ける。



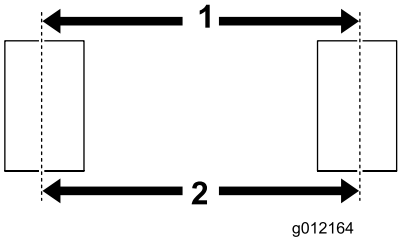
g216502

図 2

1. 取り付けブラケット
2. アクスル車軸
3. ホイールアセンブリ
4. キャリッジボルト
5. ロックナット

3. 各アクスルハブにホイールアセンブリラグナット 4個 を使用する図 2。各ナットを 108.47N·m 11kg.m 80ft-lbにトルク締めする。タイヤに空気を入れる0.35bar0.35 kg/cm2。

   注 タイヤの異常摩耗を防止するため、ホイールのトーインを 0~3mmタイヤをまっすぐ前に向けた時としてください。トーインを調べるには、各タイヤに中心線を引き、タイヤの前と後ろで、左右のタイヤの中央線間距離図 3をホイールハブの高さで計測します。ホイールの前側で測定した距離が、後側での測定よりも 3mm 小さくなるようにアクスル取り付けブラケットを調整してください。



g012164

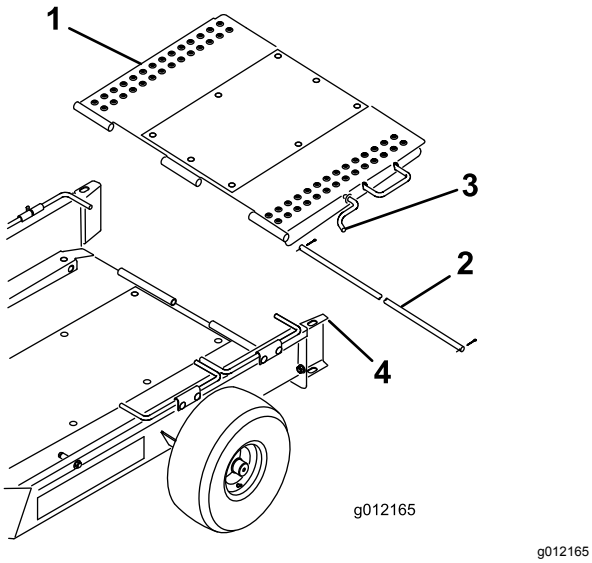
図 3

1. 前側の中心線から中心線までの距離
2. 後側の中心線から中心線までの距離

重要 **タイヤ空気圧を高くすると機械に悪影響が出る懸念があります。**

4. トレーラベッドの後部にトレーラランプを取り付けるヒンジ付きロッドとコッターピン 2本を使用する図 4。

   注 組み付け前に、ヒンジロッドにグリスを薄く塗ってください。



g012165

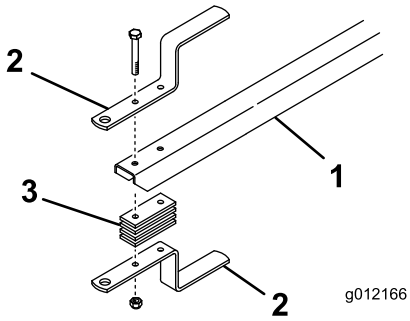
図 4

1. トレーラランプ
2. ヒンジロッド
3. ランプのラッチ
4. ホイールガイド

5. トレーラランプを跳ね上げてホイールガイド上部にある穴にランプをラッチ止めする図 4。

トレーラトングの位置を調整する

牽引車両に取り付けたときに地表面と平行になるようにトレーラトングを調整してください。適切な位置になるようにスペーサを上または下に移動してください図 5。



g012166

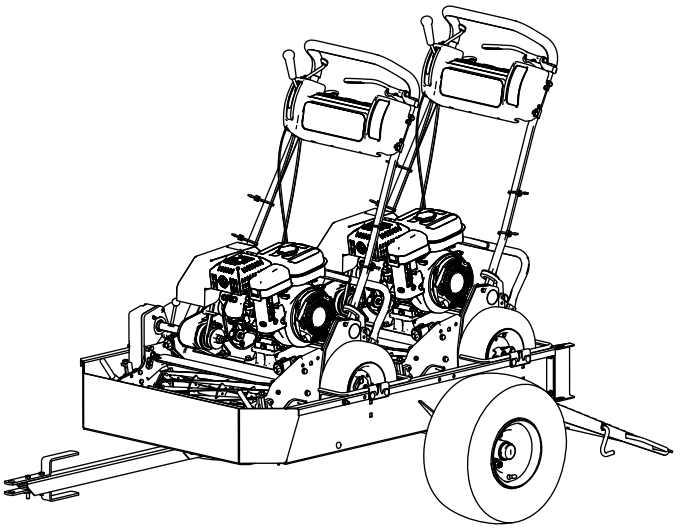
図 5

1. トレーラトング
2. トレーラヒッチ
3. ピッチスペーサ

トレーラへの積み込み

1. ホイールガイドからランプのラッチを外して、ランプを地面に降ろす。
2. 第一組目のホイールロッドを上向きにする。
3. モアからバスケットを外し、リールドライブを解除し、スロットルを一番低い位置に設定する。**ゆっくりと**、モアをトレーラに上げ、ホイールがトレーラのストップに当たるまで前進させる図 1。
4. エンジンを止め、駐車ブレーキを掛ける。
5. 第二組目のホイールロッドを下向きにする図 1。
6. 2台のモアを運ぶ場合には、以上の手順を繰り返す。

   注 第一組目のホイールロッドが台目のモア用のストップになる図 6。



g216504

図 6

7. トレーラランプを跳ね上げてホイールガイド上部にある穴にランプをラッチ止めする図 4。
8. バスケットは牽引用車両の荷台に置く。

運転操作

作業のコツ

- トレーラは、グリーンズマスター 1000, 1010, 2000, フレックス 21/2100 および eFlex 2100 歩行型グリーンモアに使用できます。移動ホイールキットモデル 04123装着機であれば、グリーンズマスター 800、フレックス18、1800、eFlex 1800 にも使用できます。グリーンズマスター 1600、1610、2600 は、移動走行用アクスルを外し、トレーラベッドからレールを外せば積載可能です。これら以外のものを牽引すると、アクスルやトランスミッションが壊れて牽引中に常時回転するようになる場合があります。
- ***適切な牽引能力のある車両で牽引してください。***トレーラとグリーンモア台の合計重量はおよそ 360kg になります 牽引に使用する車両が、この重量に相応しいブレーキ能力を備えていることを必ず確認してください車両メーカーの仕様書を確認してください。
- モアを積み込むときや降ろすときには、トレーラが牽引用車両に確実に接続されていることを確認してくださいヒッチが外れているとトングが突然跳ね上がるなどして大変危険です。
- トレーラを牽引するということは、牽引車両にそれだけの負担がかかるということです。速度を落として運転しましょう。
  - 高速道路や公道を走らないでください。
  - カーブの手前では必ず**減速**し、ゆっくりとした速度で旋回してください。
  - 地表面がラフな部分や表面の状態がよくわからない場所に入り込む場合には必ず十分に**減速**してください。
  - 進行方向を変えるときや、停止する場合にも、必ずその前に十分に**減速**するようにしてください。
  - 旋回時や法面では必ず**減速**してください。
  - 急旋回や急停止を***しないでください。*** 坂道、ランプ、傾斜面、法面などでは進行方向を急に***変えないでください***。
  - つねに、地表路面状態を確認しながら、状態に合わせて走行速度を調整してくださいぬれていて滑りやすい場所、砂地や砂利で走りにくい場所、視界の悪い場所、夕暮れ時や夜明け前、霧、もや、雨などの条件に合わせてください。
  - 特に、重いものを搭載・牽引して下り坂を走るときには安全に十二分に注意してください。傾斜している地形は、可能な場合は必ず、真っ直ぐに登って真っ直ぐに降りるルートを選んでください。法面の横断左右に傾いての走行は仮に可能であっても***しないでください***。車両が横転する可能性が常に存在し、万一横転した場合には重大な事故となります。
- バックするときには、後方の安全に注意し、車両の後部に人や物がないことを確認してください。バックするときには低速で、トレーラの動きをきちんと観察しながら下がってください。
- トレーラを接続した状態の後退走行には細心の注意が必要です。
- 道路付近で作業するときや道路を横断するときは周囲の交通に注意してください。歩行者や他の車両に対し、常に道を譲る心掛けをもちましょう。.
- トレーラが異常な振動を始めたときは直ちに停止してください。そして牽引車両のエンジンを停止してください。破損部は必ず修理交換してから使用を再開するようにしてください
- トレーラの整備や調整を行う前には、以下を守ってください
  - 牽引車両を停止し、駐車ブレーキを掛け、
  - 牽引車両のエンジンを止め、キーを抜き取る。
- ボルトやナットなどにゆるみが出ていないか時々点検してください。整備中や調整中に外したパーツは必ず元通りに取り付けてください。

メモ

メモ

Toro 製品の総合品質保証

限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「 製品 」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「 製品 」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「 製品 」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「 製品 」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warrnty@toro.com

オーナーの責任

「 製品 」のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。*オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「 製品 」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「 汚れや傷 」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「 部品 」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。
注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額逓減方式となります。さらに詳しい情報については、*オペレーターズマニュアル* をご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「 製品 」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。